



Q

仕事中に転んで、大けがをした人がいると聞きました。私の職場でも同じようなことが起きないか心配しています。転倒事故を防ぐためにどのような対策

A

仕事中の転倒による骨折などの労働災害が増加しています。令和5年の鳥取県内の休業4日以上死傷者数は554人(コロナ除く)、そのうち転倒が最も多く、176人(令和元年から50人増)で、全体の3割以上を占めました。



転倒災害防止対策のポイントは

また、労働災害に遭われた方の4割弱は60歳以上で、うち46%が転倒によるものでした。

また日常的に、作業場所の整理・整頓や清掃を行うことも、転倒事故防止に有効です。

転倒によるけがは、骨折が4分の3を占め、休業見込の日数を平均すると42日にもなります。

シニア世代の就労機会が増加し、職場で活躍する高齢者が多くみられる現代において、転倒災害を防止することは、企業・労働者の双方にとって重要なことです。

転倒災害は、滑り・つまずき・踏み外しの三つに分けられます。危険な箇所がないか、点検をお願いします。

また、また日常的に、作業場所の整理・整頓や清掃を行うことも、転倒事故防止に有効です。

転ばない体づくりのため、各自が体操などに取り組むことも重要です。

加えて冬季には、凍結による転倒が増加します。設備的な対策などを含め、早めの準備をお願いします。

鳥取労働局(厚生労働省)のHPでは、転倒災害防止や、「エイシフレンドリーガイドライン(高齢労働者の安全と健康確保対策)」などの資料を掲載しています。参考にしてください。

鳥取労働局健康安全課

電話0857(29)1704